

平和憲法と教育基本法を守り 子どもたちを大切にすることを

教育基本法改悪法案の廃案をもとめます

「子どもたちを何より大切に」と教育基本法はつくられました。「お国のためにいのちをすてよ」と教えた教育を二度と繰り返さぬとの国民のねがいが込められています。

教育基本法を改悪し、時の政府に都合のよい人間をつくる教育に変え、強制や、競争や、格差づくりの教育をいっそうすすめる法案が国会に提出されています。

子どもたちと日本の未来にかかわる大問題です。みんなの力で教育基本法の改悪をやめさせましょう。

はっきりしました。教育基本法改悪法案の大問題

1 「子どものための教育」から、 「お国のための教育」へ

「海外で戦争をする国」「弱肉強食の経済社会」を支える人づくりが目的です。

2 内心の自由を侵す 教育を推進

自民党や民主党の「改正」論者は、「愛国心」や「道徳」を法律で決め、子どもたちの心にたたき込めと国会で主張しています。各地の「愛国心」通知表の是非がいま大きな問題になっています。

3 時の政府の、教育支配・ 介入に歯止めなし

幼稚園から大学まですべての学校と、家庭・地域住民・マスコミなどにも、政府の決めた教育が押しつけられます。

4 ゆきすぎた競争と管理が いっそう深刻に

子どもたちを苦しめている競争と管理の教育がいっそうすすめられます。

5 民主党案にも同じ問題が

国会に出された民主党案も、「愛国心」のおしつけや、教育への介入を強めるなど政府案と同じ問題をもっています。



子どもたちのすこやかな成長のために
力を合わせましょう



教育基本法を大切にしない教育行政が続く中で、いま学校と教育には、いじめ問題をはじめたくさんの課題が生まれています。父母・国民、教職員、みんなで力を合わせて、憲法と教育基本法を生かす、学校と社会をつくりましょう。